

付表 E. スクリーンプリントの実施と仕上げにおいて最も効率の良い方法

ブランドのRSLでは、使用禁止とはなっていないけれど、最終製品において特定の濃度に制限する物質があります。それらの物質を使用することはできますが、残留量または意図せず汚染物質となったものが、記載された制限値を超えないように、適切な管理をせねばなりません。例えば、溶剤は、最終製品に残留する量を大幅に減らしたり、排除するために、乾燥・硬化時間を注意深く管理することで、使用することができます。この付表では、乾燥・硬化で最も効率の良い方法や、スクリーンプリントの現場において、良い方法、悪い方法の例に関する一般的なガイダンスを提示します。

硬化に関する概要

3D効果のための樹脂加工や、イージーケアやスクリーンプリントなど、多くの用途や仕上げに硬化を行うことが必要です。「硬化」とは、材料や衣類を乾燥させることだけではなく、特定の温度で開始し、完了まで時間がかかるような化学反応も含みます。化学物質を完全に反応させるために、硬化温度と時間を理解し制御することが重要です。

適切な硬化条件に関する情報は、化学品のサプライヤーから得ることができます。不適切で不完全な硬化を行うと、化学物質の安全上の問題（RSL）と、性能上の問題（例えば、数回、家庭で洗濯しただけで3D効果やイージーケア効果がなくなる）が起こることがあります。

最も効率の良い方法

硬化が必要な樹脂、スクリーンプリント、その他の使用例を扱うサプライヤーは、次のことが必要です。

- 化学品のサプライヤーから、テクニカルデータシート（TDSs）を入手し、記載された硬化条件に従うこと。
- 仕上げ条件やスクリーンプリントの処方、硬化条件などを文書化する。

- 定期的に乾燥機の機器較正を行い、較正記録を取る。（注意：乾燥機に取り付けられているデジタル温度計が乾燥機内の温度を正しく表示しているかどうか確認すべきです。）
- 寒冷地にある工場でベルトコンベア式の乾燥機を使う場合、乾燥機内の位置により温度が異なる場合があることを認識してください。最終製品の品質や残留化学物質の濃度に違いが起こる場合があります。
- 衣類の表面温度が、定められた硬化温度に達してから、硬化時間の要件を開始してください。単に、衣類を乾燥機に入れた時からの時間ではありません。

温度チェック用ステッカーがありますが、それらは、衣類表面の最も高い温度を記録するだけです。また、定期的に衣類の表面温度をチェックできるデジタル式の器具もあります。それらは、衣類表面温度の違いの詳細な記録を取ることができます。これにより、硬化プロセスをより良く管理することができます。

出処：スクリーンプリントの塗布とプリントの最適な方法

この一連の資料は、スクリーンプリント工場での最適および最悪な例を示しています。



AFIRM - アパレル＆フットウェア国際RSL管理グループ



スクリーンプリントの実施と仕上げにおいて最も効率の良い方法

2018年11月

